

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育実習指導Ⅱ又はⅢ						授業形態		演習	
科目コード	750131	単位数	1単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	西田 雅美								ICT活 用	
授業概要	本授業の目的は「保育実習ⅠA」での学びや大学で学んだ諸教科の内容およびその関連性を踏まえながら、保育実践力を培うことである。 そのために授業では、保育実習における意義と目的を再度確認し、保育について総合的な視点で学びを深めていくこと、保育の観察・記録や自己評価を踏まえた保育の改善について理解を深めていく。 また、保育者として自己課題を明確化できるようにする。									
関連する科目	「保育実習指導Ⅰ」および「保育実習ⅠA」を事前に履修しておくこと。履修後は「教職実践演習（幼）」を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業にて、授業計画に沿った内容の演習形式の講義を行う。二度目の保育所実習に向けて丁寧に準備を進める。 自身で立案した指導案（PC作成）を基に保育実践の実施、指導案の改善を繰り返す行う。									
授業計画 【第1回】	「保育実習Ⅱ」の意義と目的及び保育実習の内容と具体的事項についての説明 保育実習Ⅱの意義と目的を確認し、実習内容と具体的事項について理解する。									
授業計画 【第2回】	保育実習ⅠAの振り返りと日誌の必要性、記述方法、保育計画について 記録の必要性と方法、保育計画の作成について確認する。									
授業計画 【第3回】	保育指導案の作成（0～2歳児） 責任実習に向けた指導案を作成する。									
授業計画 【第4回】	模擬保育の実践・省察① 作製した指導案をもとに模擬保育を実践し、省察を行う。									
授業計画 【第5回】	事前訪問指導 必要書類や電話マナー、訪問時の留意点、訪問後の流れについて確認する。									
授業計画 【第6回】	保育指導案の作成（3～5歳児） 責任実習に向けた指導案を作成する。									
授業計画 【第7回】	模擬保育の実践・省察② 作製した指導案をもとに模擬保育を実践し、省察を行う。									
授業計画 【第8回】	事前指導 必要書類や準備物の確認を行う。 保育指導案の考察・作成 模擬保育の省察を踏まえ、新たな指導案を作成する。									
授業計画 【第9回】	直前指導 各自の実習課題と実習中の心得を確認し、注意事項等について理解する。									
授業計画 【第10回】	実習事後指導 実習を振り返り、学びの整理と保育者を目指す上での自己課題を明確化する。									

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	1. 保育実習Ⅱの意義・目的及び実習内容と具体的事項を理解する 2. 子ども理解、実践の展開・評価・改善の一連のプロセスの理解を深める 3. 指導案作成と模擬保育を通して実践力を養う 4. 観察・記録の方法を深める 5. 実習の成果とまとめを発表し、保育士の業務内容や職業理解についての理解を深め、保育士としての自己課題を明確化する
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	保育実習ⅠAの内容を振り返り、毎回の講義内容に関する自らの課題を明らかにしておくこと。 乳幼児の発達、遊びに関することを各自で収集し、指導案作成に生かすこと（70分程度）
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集をすること。 保育実践後の振り返りを大切にし、改善点を明確化すること。 保育者として必要な資質・能力の向上に努めること（70分程度）
課題に対する フィードバック	課題等は返却時に説明を行う。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する 1) 学習態度・意欲50点 2) 指導案・課題、各種提出物50点
テキスト	「保育実習の手引き」「実習日誌・指導計画案の書き方」（南九州大学人間発達学部で作成） その他、必要に応じて適宜資料を配布する。
参考書	1. 保育実習日誌 2. 保育実習の手引き 3. 保育所保育指針解説書 4. 実習日誌・指導計画案の書き方等配布資料
備考	実習関連書類作成（事前事後）、指導案立案、模擬保育実践、その他の保育実践を必須とする。